

古都奈良の秋を彩る伝統行事

鹿の角きり



2017年 秋の

10月7日(土)・8日(日)・9日(月・祝)

開催時間 12:00~15:00

11:30開場・最終入場14:30

※小雨決行・荒天中止

観覧料

おとな1,000円 こども500円

中学生以上

小学生

愛護会会員・同伴者1名様まで無料

障がい者手帳をお持ちの方・付添1名様まで半額

完全入れ替え制・立見席・場内バリアフリーではありません

ペット同伴でのご入場お断り・三脚禁止

鹿苑 角きり場

ろくえん

(春日大社境内)

〒630-8212

奈良市春日野町160番地1



● JR・近鉄奈良駅より
奈良交通バス市内循環外回り
春日大社表参道下車 東へ徒歩約7分

● JR・近鉄奈良駅より
奈良交通ぐるっとバス
奈良春日野
国際フォーラム麓前下車
南へ徒歩約3分

主催・お問合せ

一般財団法人奈良の鹿愛護会

TEL:0742-22-2388 FAX:0742-25-0166

<http://www.naradeer.com>

後援:(一財)奈良県ビクターズビューロー
(公社)奈良市観光協会

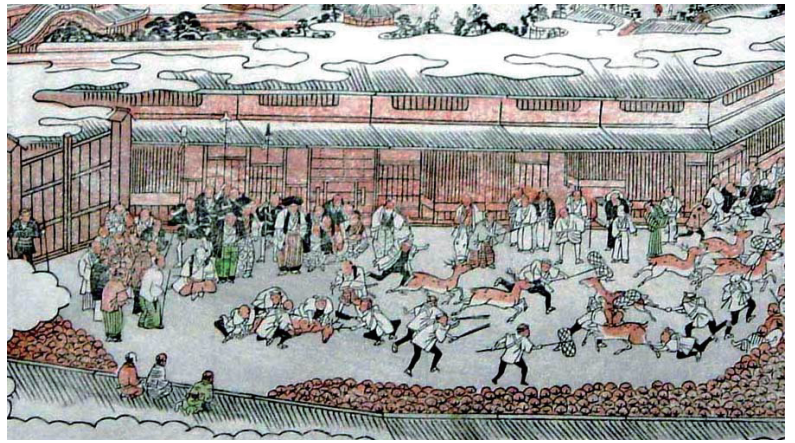
角きりの歴史

「鹿の角きり」は、発情期をむかえた雄鹿の角により、町民が危害を受けたり、鹿がお互いに突き合って死傷することを防ぐため、江戸時代初期の1672年(寛文12年)当時鹿の管理者であった興福寺が奈良町奉行の要請を受けて始めたと言われています。

当時の角きりは、町の所々で行われ、店先や人家の格子の中、屋根の上などから見物していたようです。

明治時代の中頃には、春日大社の参道の所々で角きりが行われていました。1929年(昭和4年)より現在の角きり場を設け現在の姿となりました。

明治・昭和の戦乱期の一時中断を除き、現在まで継承されている古都奈良ならではの勇壮な伝統行事となっています。



南都神鹿角伐之図(東栄堂蔵)

タイムテーブル	11:30	12:00	12:30	→	→	14:30	15:00
	開場	安全祈願祭	角きり 1回目	行事進行	30分間隔で	角きり 5回目 (最終回)	行事終了

※行事進行上、時間が前後することがあります。

角きり行事とは

勢子たちが「赤旗」を持ち、角きり場内に立派な角鹿を追い込みます。「十字」を持った勢子が鹿の角に縄をかけます。鹿はゴザの上に寝かされ、神官役が興奮した鹿の口に水差して水を含ませ気を静めた後、ノコギリで角を切り落とします。鹿は神様のお使いの「神鹿」とされてきたことから、神官役が角を切り、神前に供えます。



十字
割竹を十字に組み、
縄を掛けた捕獲具



赤旗
竹竿に赤い旗を
付けた道具

角鹿を追い込む勢子



縄をたぐりよせる勢子

鹿からのお願い

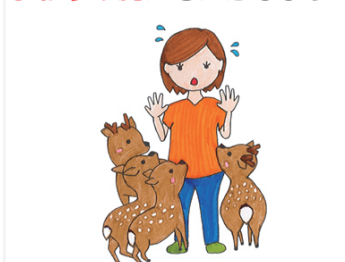
奈良公園には、国の天然記念物に指定されている「奈良のシカ」が1000年以上前からたくさん生息しています。人と鹿の共生は世界でもここしかありません。みんなでたいせつに保護しましょう。

奈良公園のシカの多くは人に慣れていますがあくまで野生動物です。時として人を攻撃することがありますので特にお年寄りや小さなお子様連れの方は注意して下さい。

小さい子は、おとなと
いっしょにあたえよう！



まわりの鹿にも注意しよう！



バッグなどに気をつけて！



鹿せんべいがなくなったら
両手を広げおしえて！



奈良公園の鹿は、国の天然記念物に指定されている野生動物です。
みんなでたいせつに鹿を守りましょう。